

(昭和 48 年度課題業務経過報告)

Ⅱ . ヒトエグサ養殖場における藍藻類の

異状発生と養殖状況について

瀬 底 正 武

この調査は、養殖業者、伊波氏の依頼で、屋我地養殖場におけるヒトエグサの生長阻害の原因究明のため行なった。

1. 種付けから本張りまでの経過

種付けが行なわれたのは、1972年の10月27日で張り込み予定の18日より8日～9日遅れて張り込んだ。

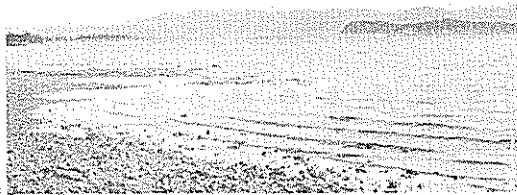
肉眼的な発芽の確認ができない、いわゆる11月14日には、台風28号の影響を受け種付け網1,500枚きれいに洗い流されたので、一応回収し網の修理をしたのち12月4日～5日ふたたび種付けをした。

游走子の着生状況は、かんばしかなかったが、500枚程度の種付けができたので屋我地の本張り地(養殖場)に移殖した。

(注) 12月20日以降に種付けをした網には、游走子は着生しなかった。

2. 移殖後の生育状況

種付け場と移殖網の養殖場を図一I、図一IIに示した。



図一I 恩納村の種付及び養殖場



図一II 屋我地養殖場

屋我地養殖場及び同湾外における生育状況と種付け場の恩納村における生育状況については次の通りであった。

- ① 恩納村で種付けした網を屋我地の本張り地に移殖したが1～3回とも葉体の生長は見られない。
- ② 恩納村で種付けをし本張りをしたものは生長は見られる。
- ③ 屋我地養殖場内と同湾外とは、生長はちがうようで湾外が生長は良い。
- ④ 屋我地養殖場内と同湾外の水温差は3°Cで湾外より養殖場内は低い